

# イワギク *Chrysanthemum zawadskii* Herbich の訪花昆虫

富 樫 一 次 石川県農業短期大学

## FLOWER VISITING INSECTS OF *CHRYSANTHEMUM ZAWADSKII* HERBICH IN MT.HAKUSAN

Ichiji TOGASHI, *Ishikawa Agricultural College*

イワギク *Chrysanthemum zawadskii* Herbich は大陸の残存植物といわれる植物で、我が国における分布域は限定されており貴重種として取り扱われている。そのため、調査地点の明記はしないが、筆者は1987年10月3日に白山山系の一部で本種の訪花昆虫について調査したので、ここにその結果を報告する。

本文に入るに先立ち、種の同定をして頂いた農業環境技術研究所の小西和彦氏、徳島県の大原賢二氏、ならびに九州大学の髙洪博士の各位に感謝の意を表す。

### 調査結果と考察

第1表は、イワギクの花を訪れた昆虫類のリストである。すなわち、訪れた昆虫類は6種であったが、そのうちの半数はハナアブ類によって占められていた。そのハナアブ類の中でもっとも個体数の多かったものはハナアブであった。これに対し、膜翅目昆虫は僅か2種(23.3%)で、野生ハナバチ類はカミコウチヒメハナバチ1種(16.7%)にすぎず、それも雄のみであった。

富樫ら(1985)は、白山の高山帯でキク科植物の一種であるミヤマアキノキリンソウの訪花昆虫を調査したが、この花を訪れた昆虫類17種のうちハナアブ類は10種(58.8%)であり、野生ハナバチ類は3種(17.5%)と少なかったが、その訪花種数の割合はイワギクの訪花昆虫の場合と似ていた。

イワギクの花は頭状花序であるが周縁部に舌状花冠がならび、その内側に筒状花冠が密生している。この花を訪れた昆虫類はすべて筒状花冠の部分に集り、舌状花冠の方には全く認められなかった。

ただ、イワギクの花期は8月より10月までと長いので、次の機会には花期の初期から末期まで連続調査をし、訪花昆虫相の変遷などについて明らかにしておくつもりである。

Table 1. A list of Flower visiting insects of *Chrysanthemum zawadskii* in Mt. Hakusan, Ishikawa Prefecture.

Species name	No. of individuals
<i>Meliscaeva cinctella</i> (Zetterstedt)	1
<i>Eristalis tenax</i> (Linnaeus)	12
<i>Syritta pipiens</i> (Linnaeus)	1
<i>Turanogonia chinensis</i> (Wiedemann)	1
<i>Stenichneumon culpator iwatensis</i> Uchida	1
<i>Andrena kamikochiana</i> Hirashima	2

ま と め

イワギクの花期の末期における訪花昆虫を調査し6種を記録した。  
花を訪れた昆虫は筒状花冠部に集中して見られた。

文 献

富樫一次・前出多仁子・村井誠 (1985) 白山の高山帯の訪花昆虫類 (1) 白山自然保護センター 研究報告第12集 : p.25  
~29

Summary

Insects visiting flowers of *Chrysanthemum zawadskii* Herbich were observed in Mt. Hakusan, Ishikawa Prefecture. Of 6 species collected, syrphid flies were most abundant group. Wild bee was only one species, *Andrena kamikochiana*.